

N

F

C

## NFC CALENDAR

大ホール(2階)

自選シリーズ 現代日本の映画監督 1  
崔 洋一

Directed by Yoichi Sai - His Own Selection

2013年3月19日(火) - 3月31日(日)

3月の休館日:

月曜日

大ホール

開映後の入場はできません。

定員=310名(各回入替制)

料金=一般500円/高校・大学生・シニア300円/小・中学生100円/

障害者(付添者は原則1名まで)、キャンパスメンバーズは無料

発券=2階受付

- ・観覧券は当日・当該回のみ有効です。
- ・発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切ります。
- ・学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示ください。
- ・発券は各回1名につき1枚のみです。

電力事情など今後の状況により急遽スケジュールが変更される可能性もございます。最新の情報は、当館ホームページ又はハローダイヤルにてご確認ください。

お問い合わせ: ハローダイヤル03-5777-8600

NFCホームページ:

<http://www.momat.go.jp/>

NFC携帯電話ホームページ:

<http://www.momat.go.jp/nfc/k/>

東京国立近代美術館フィルムセンター

National Film Center  
The National Museum of Modern Art, Tokyo

自選シリーズ 現代日本の映画監督 1

崔

洋

Directed by Yoichi Sai - His Own Selection



フィルムセンターの新上映企画「自選シリーズ 現代日本の映画監督」は、1980年代以降の日本映画を牽引してきた映画監督に、自作の中から上映作品を選定していただき、そのデビューから現在までの足跡をたどることによって、現代日本映画の原点を探る試みです。

記念すべき第1回は、デビュー作『十階のモスキート』(1983年)以来、常に日本映画を刺激する作品を撮り続けてきた、崔洋一監督を特集します。在日コリアンのタクシー運転手の破天荒な日常を描いたコメディ『月はどっちに出ている』(1993年)の興行的・批評的成功によって、名実共に日本を代表する映画作家となった崔監督は、その後も話題作を発表し続け、日本映画の描く領域を広げています。

国内では初の本格的なレトロスペクティブとなる本企画では、崔監督自らの選定による12プログラムの作品をまとめて上映します。

2013  
3NFCカレンダー  
2013年3月号

1 3/20(水)1:00pm 3/26(火)7:00pm

十階のモスキート(108分・35mm・カラー)

実際に起きた事件をモデルに、当時俳優としても注目され始めていた内田裕也を主演に迎えて撮ったデビュー作。同じく内田主演の『水のないうる』(1982、若松孝二監督)同様、一見平凡な日常を送る公務員に潜む暴力の衝動と欲望を描く。



'83(ニュー・センチュリー・プロデューサーズ) 監 崔洋一 脚 内田裕也 監 森勝美 脚 細石照美 監 大野克夫 脚 中村れい子、吉行和子、宮下順子、小泉今日子、アン・ルイス、風祭ゆき

2 3/19(火)3:00pm 3/27(水)7:00pm

性的犯罪(77分・35mm・カラー)

前作に続き、実在の事件をモチーフにしたロマンポルノ作品。借金を抱えたスクラップ会社の社長とその妻、愛人から、債権者の強引な取り立てから逃れつつ同棲生活を送る。



'83(にっかつ) 監 崔洋一 脚 三井優 脚 野田悌男 脚 木村威夫 脚 小野寺修 脚 風祭ゆき、三東ルシア、河原さぶ、清水宏、美野真琴、草薙幸二郎、三谷真、佐藤幸彦、森みどり

3 3/19(火)7:00pm 3/31(日)1:00pm

友よ、静かに眠れ(103分・35mm・カラー)

北方謙三のハードボイルド小説を映画化。この時期、崔は4作連続で角川映画のメガホンを取った。寡黙なアウトサイダーが友を救出するために町を訪れ、土地の権力者たちに独り立ち向かう。舞台は原作の山陰の温泉町から沖縄に変更され、抑制された照明と減感現像によって意図的に暗い画面が作られた。



'85(角川春樹事務所) 監 崔洋一 脚 北方謙三 脚 丸山昇一 脚 浜田毅 脚 小川富夫 脚 梅林茂 脚 藤竜也、倍賞美津子、原田芳雄、室田日出男、林隆三、六浦誠、佐藤慶、宮下順子

4 3/21(木)3:00pm 3/29(金)7:00pm

黒いドレスの女(100分・35mm・カラー)

『友よ、静かに眠れ』同様、北方の小説を映画化。原田知世が独立する前の最後の角川作品。家出娘(原田)とバーの店長(永島)の出会いと別れが、老やくざ(菅原)の逃亡劇と絡めて描かれる。



'87(角川春樹事務所) 監 崔洋一 脚 北方謙三 脚 田中陽造 脚 浜田毅 脚 今村力 脚 佐久間正英 脚 原田知世、永島敏行、菅原文太、藤真利子、室田日出男、藤タカシ、成田三樹夫

5 3/20(水)4:30pm 3/28(水)3:00pm

花のあすか組! ASUKA(99分・35mm・カラー)

原作は同名少女漫画だが、舞台はデストピア的な近未来の新宿へと変更され、混沌としたストリートに生きる少女たちの姿が、激しいアクションを中心に描かれる。とりわけ、野生動物のように俊敏に動きまわる主演のつきみほの身体能力が素晴らしい。



'88(角川春樹事務所) 監 崔洋一 脚 高口里純 脚 浜田毅 脚 今村力 脚 佐久間正英 脚 つきみほ、武田久美子、石橋保、菊地陽子、加藤善博、美加里、松田洋治、川下敦史、葛城ユキ、高峰祥

6 3/22(金)7:00pm 3/31(日)4:00pm

Aサインデイズ(111分・35mm・カラー)

利根川裕によるルポルタージュ「喜屋武マリーの青春」を原案にした、沖繩ロッカー夫婦の伝記映画。1960年代末から本土復帰までの沖繩を舞台に、洋楽のクラブバンド歌手とその妻の波瀾万丈の生活を描く。夫の荒んだ言動に耐えながら、ロッカーとして、また女としての強さを獲得していく中川安奈の芯の通った演技が見もの。



'89(大映) 監 崔洋一 脚 利根川裕 脚 斎藤博 脚 浜田毅 脚 今村力 脚 曾根紀見男 脚 中川安奈、石橋渡、広田玲央子、大地雄、中尾ミエ、SHY、浦田賢一、清水昭博、川平慈英

7 3/22(金)3:00pm 3/30(土)1:00pm

月はどっちに出ている(110分・35mm・カラー)

梁石日の「タクシー狂躁曲」を原案に、『襲撃 BURNING DOG』(1991)に続いて鄭義信と共同で書き上げた崔の代表作。在日コリアンを主人公とする映画の製作は日本社会において容易ではなく、構想から実現までに12年を要した。長篇用の脚本を基にして衛星放送番組のための短篇が16mmで製作された後、35mmの長篇(撮影はスーパー16mm)が劇場公開され、国内の数々の賞を獲得した。



'93(シネカン) 監 崔洋一 脚 梁石日 脚 鄭義信 脚 藤澤順一 脚 今村力、岡村匡一 脚 佐久間正英 脚 岸谷五朗、ルビー・モレノ、絵沢萌子、小木茂光、遠藤憲一、有園芳記、唐赤児、國村隼、芹沢正和

8 3/23(土)1:00pm 3/28(木)6:45pm

マークスの山(139分・35mm・カラー)

第109回直木賞受賞作のベストセラー・ミステリーを映画化。原作を大胆にそぎ落とし、断片的な回想を多用する複雑な語りを導入している。青い光を基調とした冷えた世界に、暴力が年月を越えて連鎖していく。とりわけ東映映画での脇役時代を想起させる小林稔侍の凶暴さと、『CURE』(1997、黒沢清監督)を先取りする萩原聖人の空虚な悪の描写が印象深い。



'95(松竹=アミューズ=丸紅) 監 崔洋一 脚 高村薫 脚 丸山昇一 脚 浜田毅 脚 今村力 脚 ティム・ドナヒュー 脚 中井貴一、萩原聖人、名取裕子、小林稔侍、古尾谷雅人、小木茂光

9 3/23(土)4:30pm 3/26(火)3:00pm

犬走る DOG RACE(110分・35mm・カラー)

1980年代初めに松田優作主演の企画として準備された「ドッグレース」を原案に、90年代末の新宿の多民族・多国籍の喧嘩を盛り込んだ刑事もの。日本人刑事と在日コリアンの情報屋、上海人美女の三角関係を軸として、新宿裏社会の狂騒を24時間のうちに描く。崔映画のトレードマークとも言える市街地での必死の逃走と追跡が、これまでもまに複雑な魅力を放っている。



'98(東映ビデオ) 監 崔洋一 脚 丸山昇一 脚 鄭義信 脚 藤澤順一 脚 今村力 脚 鈴木茂 脚 岸谷五朗、大杉蓮、富根真、遠藤憲一、香川照之、李海、國村隼、岩松了、絵沢萌子、張春祥

- 監 = 監督 脚 = 原作・原案 脚 = 脚本・脚色 監 = 撮影 監 = 美術 音 = 音楽 出 = 出演
- スタッフ、キャストの人名は原則として公開当時の表記を記載しています。
- 特集には不完全なプリントが含まれていることがあります。
- 記載した上映分数は、当日のものとは多少異なることがあります。

10 3/24(日)1:00pm 3/27(水)3:00pm

豚の報い(118分・35mm・カラー)

第114回芥川賞受賞作の同名短篇を映画化。故郷の沖繩に戻った青年が、マブイ(魂)を落としたスナックのホステスのため、彼女とその同僚2人と共に、神の降り立つ島を訪れる。第52回ロカルノ国際映画祭にてドン・キホーテ(国際シネクラブ連盟)賞受賞。



'99(サンセントシネマワークス) 監 崔洋一 脚 又吉栄喜 脚 鄭義信 脚 佐木原保志 脚 磯見俊裕 脚 大熊巨 脚 小澤征悦、あめくみちこ、上田真弓、早坂好恵、岸部一徳、吉田妙子

11 3/21(木)7:00pm 3/30(土)5:00pm

刑務所の中 DOING TIME(93分・35mm・カラー)

自身の受刑体験を克明に描いた、花輪外一のセト漫画を映画化。冒頭以外は原作に忠実に、刑務所の不条理なまでに細かい規則に適用していく受刑者たちの日々が、挿話的にユーモラスに綴られる。



2002(ピーワールド=衛星劇場) 監 崔洋一 脚 花輪外一 脚 鄭義信 脚 中村義典 脚 浜田毅 脚 磯見俊裕 脚 山崎努、香川照之、田口トモロヲ、松重豊、村松利史、大杉蓮、伊藤洋三郎

12 3/24(日)4:00pm 3/29(金)3:00pm

血と骨(144分・35mm・カラー)

第11回山本周五郎賞を受賞した梁石日の自伝的長篇を映画化した話題作。当初は7時間半分に膨らんだという脚本は、5年かけて現在の形に練られた。調布の空き地に建てられた朝鮮人長屋のオープン・セットを舞台に、ビートたけし演じる金俊平が、家族を含めた周囲の誰からも理解されない孤独な暴君として生き抜くさまを骨太に描く。

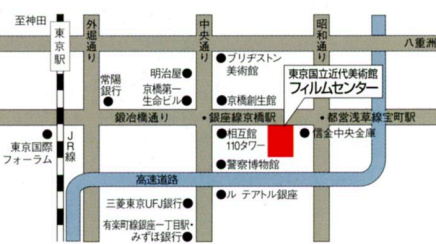


2004(『血と骨』製作委員会) 監 崔洋一 脚 梁石日 脚 鄭義信 脚 浜田毅 脚 磯見俊裕 脚 岩代太郎 脚 ビートたけし、鈴木京香、新井浩文、田畑智子、松重豊、中村優子、濱田マリ

■崔洋一監督トーク・イベントのお知らせ

\*入場無料(当日1回目の上映をご覧になった方は、そのままトーク・イベントに参加することができます。トーク・イベントのみの参加もできます。)

- ▶3月20日(水・祝) 2:50pm
- ▶3月30日(土) 2:55pm



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区区橋3-7-6

▼交通: 東京メトロ銀座線橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分 都営地下鉄浅草線京町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分 東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分 JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

月	火	水	木	金	土	日
	2 3:00pm 性的犯罪(77分)	1 1:00pm 十階のモスキート(108分) 2:50pm 崔監督トーク・イベント	4 3:00pm 黒いドレスの女(100分)	7 3:00pm 月はどっちに出ている(110分)	8 1:00pm マークスの山(139分)	10 1:00pm 豚の報い(118分)
3月	3 7:00pm 友よ、静かに眠れ(103分)	5 4:30pm 花のあすか組! ASUKA(99分)	11 7:00pm 刑務所の中 DOING TIME(93分)	6 7:00pm Aサインデイズ(111分)	9 4:30pm 犬走る DOG RACE(110分)	12 4:00pm 血と骨(144分)
	9 3:00pm 犬走る DOG RACE(110分)	10 3:00pm 豚の報い(118分)	5 3:00pm 花のあすか組! ASUKA(99分)	12 3:00pm 血と骨(144分)	7 1:00pm 月はどっちに出ている(110分) 2:55pm 崔監督トーク・イベント	3 1:00pm 友よ、静かに眠れ(103分)
	1 7:00pm 十階のモスキート(108分)	2 7:00pm 性的犯罪(77分)	8 6:45pm マークスの山(139分)	4 7:00pm 黒いドレスの女(100分)	11 5:00pm 刑務所の中 DOING TIME(93分)	6 4:00pm Aサインデイズ(111分)

■作品によって開映時間が異なりますのでご注意ください。

表紙: 崔洋一監督